

第2部【基本構想】

第1章 目指すべき「郡上市」像

第1節 まちづくりの基本理念

先人が培ってきた伝統を受け継ぎ、市民であることに誇りをもち、新しい未来に向かって、共に生きるふるさつをつくるために定められた市民憲章は、単なる精神的な支柱だけではなく、市民の共感を得て取り組む郡上市づくりの根幹を示したものです。また、市民が主人公のまちづくりに向けて制定された住民自治基本条例の前文には、いつまでも住み続けられる地域を目指し、市民、議会、市長等がそれぞれの役割を担って協働によるまちづくりを進めることを明記しました。

景気の低迷や人口減少、超高齢化、地域の過疎化などの問題が山積する中、現状を的確に認識して将来を考え、また、みんなが協力する様々な取り組みを総動員し、地域の個性を活かし、市民がいつまでも安心して住み続けられるまちづくりにより、「郡上に住んで良かった」と実感できることが重要となります。

そこで、世界農業遺産「清流長良川の鮎」や白山ユネスコエコパーク（生物圏保存地域）に代表される豊かな自然、伝統文化、産業、暮らしなど、市民の皆さんそれぞれの「郡上」に対する思い入れや誇りを大切に、これまで先人が培ってきた郡上の価値を今後もずっと守り続け、そして、その価値をもっと伸ばしていきたいと考えます。

このため、基本理念を「みんなで考え、みんなで作る郡上 ～ ずっと郡上 もっと郡上 ～」とし、これからの郡上市づくりを皆さんと一緒に取り組みます。

基本理念

みんなで考え、みんなで作る郡上

～ ずっと郡上 もっと郡上 ～



第2節 郡上市の将来像

(1) 目指すべき郡上市の将来像

第2次総合計画において、目指すべき郡上市の将来像として、市民が郡上を誇りに思い、安心して住み続けられることが一番大切なことと考え、「住みたいまち郡上<安心>」「輝きたいまち郡上<活力>」「訪ねたいまち郡上<交流>」としています。

活力ある「ふるさと郡上」の構築に向けて、市内のあらゆる地域資源をみんなで一緒に磨き、連携・活用することにより、郡上市の活性化を図っていくため平成29年度から政策推進の旗印として掲げている「観光立市郡上」の実現が目指すべき将来像に結びつきます。

